

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2022. 9. 29 NO. 355

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610

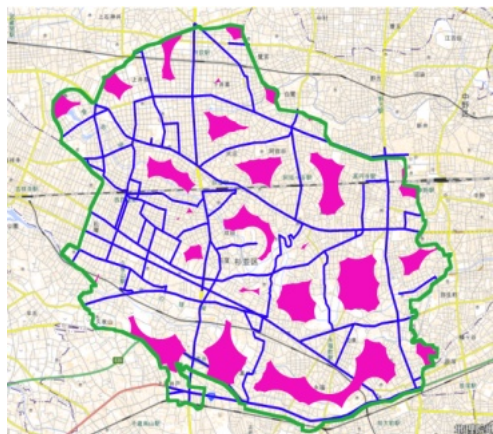


不便地域解消となる「地域公共交通計画」の策定を

第3回定例会本会議で、日本共産党区議団の野垣あきこ議員は、地域公共交通計画、気候危機への対応について質問しました。質問と答弁の要旨をお知らせします

すべての人が安全かつ安価で容易に利用

共産党区議団は、2年前の一般質問で区内の交通不便地域(駅やバス停からも遠い地域)を地図(左)で示し、対策を求めました。その後、杉並区は「地域公共交通計画」の策定を表明。現在、策定作業が進められています。



ピンク色が「公共交通不便地域」(鉄道駅から500m以上、路線バス停から300m以上、すぎ丸バス停から200m以上離れた地域)

野垣議員は、まず、公共交通のあり方について、区長の見解を問いました。

区長は、計画を準備する協議会でも「移動の自由を保障する」意見が出されており、「すべての人々が安全かつ安価で容易に利用できる」ことは、SDGsのターゲットだと強調しました。

高齢者が800m10分で歩けるか?

3月の協議会では、公共交通不便地域の考え方を狭める見直しが提案されました。(下表)野垣議員は、資料では800mを徒歩10分程度と記載しているが、高齢者の歩行時間を無視した想定で、かつ駅までの直線

	従来	今回
鉄道駅から	500m	800m
バス停から	300m	路線から
すぎ丸から	200m	200m

距離で判断するのは、実態にあわないと批判しました。

移動不便解消に向けた施策を計画に

さらに、移動不便の解消に向けては、機械的に不便地域か否かで分けるのではなく、地域住民の年齢構成なども配慮し、住民の声にもとづいて対策をとることを求めました。

区は「地域外も含め移動不便地域の解消に向けた施策や実施時期を計画に記載」と答弁。さらに「年齢構成への配慮や住民の意見の反映は非常に重要」と答弁しました。

すぎ丸の路線延伸、時間延長、運賃については「身近な足としての重要性は認識している」と答弁し、「先進事例を参考に協議会において継続的に協議していく」と答弁しました。



南北バス「すぎ丸」

気候危機打開へ 岸本区長「脱炭素のまちの実現めざす」

気候市民会議を推進

気候危機打開についての質問では、2050年CO2実質ゼロに向けた基本姿勢を問いました。岸本区長は、気候危機は「現代社会のあり方そのものを問うもの」との認識を示すとともに、「みんなが取り組む脱炭素のまちの実現めざす」と答弁しました。

さらに、前区政のもと、阿佐ヶ谷駅北東地区の区画整理事業で大量の樹木が伐採されたことについては「私も非常に残念に思っている」と表明。区長が重視する気候市民会議については「多くの区民の行動変容に繋がる意義あるもの」と答弁しました。

家庭、事業者への助成策の強化へ

具体的対策でも担当部長は、施策を拡充・強化する意思を表明しました。

問 家庭部門の削減対策は？

答 再エネ導入等への助成内容を充実させ、

さらに専門家の協力で効果的な方策を検討。

問 商店など事業者への支援は？

答 LED化助成の利用状況をみながら、より

よい制度となるよう見直しに注力。

問 再エネ電力の普及強化を

答 地域単位で電力の見える化の研究中。普及

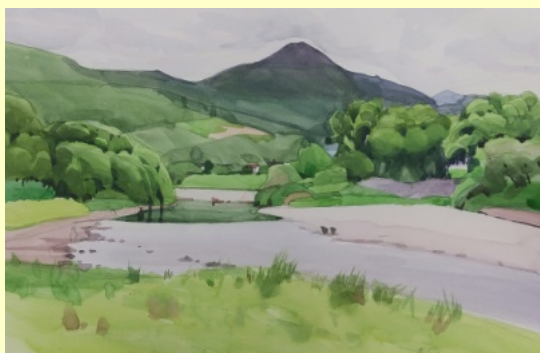
啓発に向け、取組の見直し・充実を図るとともに新たな目標設定を検討。

補正予算 可決

学校給食費 値下げへ

開会中の第3回定例会に、日本共産党区議団が前区政の時から要求してきた学校給食費の値下げ等を含む補正予算が提案され、可決・成立しました。

主な事業は右枠のとおりです。



吉田信夫 画
(群馬県後閑・月夜野大橋下より
水上方面を望む)

■学校給食費補助

保護者の負担を軽減するため、区立学校の給食費値上げ分を今年4月までさかのぼって助成。

■杉並区生活応援給付金

国の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の対象外となった生活困窮世帯（住民税均等割のみ世帯）に対し、区独自の臨時給付金を支給。

■プレミアム付商品券等事業

区内商店及び区民生活を支援するため、キャッシュレス決済によるポイント還元事業及びプレミアム付商品券事業を実施。

■区立学校における生理用品の配置

区立小・中・養護学校の女子トイレに生理用品を配置し、児童生徒が申し出なく気軽に利用できるようにする。